

## 霞ヶ浦について

### 1. 生い立ち

約6000年前の霞ヶ浦は、現在の利根川下流部や印旛沼、手賀沼などと一つながりの入海の一部でした。その後、利根川が運んだ土砂の堆積で徐々に海から切り離され、今日のような湖が形成されました。



主典 霞ヶ浦河川事務所 HP

### 2. 概要

霞ヶ浦は西浦、北浦、常陸利根川他で構成されており。西浦を通称、霞ヶ浦と呼称している。

下流に向かって各岸を、左岸・右岸・中岸と区分している。



湖面積	西浦	172 km <sup>2</sup>	北浦	36 km <sup>2</sup>	常陸利根川他	12 km <sup>2</sup>
湖岸線	西浦	122 km	北浦	75 km	常陸利根川他	55 km
湖容積	約 8.5 億 km <sup>3</sup>					
最大水深	7 m (平均水深 4 m)					
水の交換日数	約 200 日					
水位調整	YP+1.1~1.3m で管理している。 管理は常陸利根川水門 (通称 逆水門) にて行っている。					

以上